

平成 28 年度 大阪府立福井高等学校 第 1 回学校協議会 議事録

日時 平成 28 年 7 月 5 日 (火) 15:00~16:30

場所 本校 校長室

1 校長あいさつ

- ・「ドリカム」「マナトレ」「警察と連携した自転車指導」「コスモス」等の取り組みを進めている。若い教職員が多くなり、パワーもあるが手探りも多いので、ご意見をいただきたい。

2 協議会委員・事務局員紹介

3 会長選出 ※ 今年度会長 = 永田委員

4 事務局より報告及び委員からの意見等

①入学者選抜及び生徒の動向について

- ・倍率が 1.0 倍の厳しい入試であった。
 - ⇒ 定員割れで入学した生徒の思いは 3 年間で終わらず、一生続く。定員割れさせないためにも、やはり中学校との連携が重要。
 - ⇒ 入試制度が大きく変わり、中学校では保護者・子どもの不安感も大きい一方、子どもの意識が高まり、進路説明会についても保護者の出席が増えている。
- ・退転学者が微増している。
 - ⇒ 中学校では、18 歳時点での進路選択ができるよう取り組んでいる。その中で、転退学者が増えたのは残念だ。

②入学者の状況と本校の位置

- ・地元率が 55.8%から 68.3%と増加した。

③33 期生の全体像

- ・昨年度より満足度がさらに上昇し、「魅力ある高校」と感じている生徒も 78%に増加した。「学校が楽しい」「先生がいい」等に加え、「ルールがきちりしている」の声があがっている。

④生徒指導部「生徒の状況について」

- ・頭髪指導の状況は 3 学年とも落ち着いている。
- ・5 月に茨木警察と合同で交通安全指導を行った。

⑤部活動について

- ・加入率は変わらないが、部によっては厳しいところもある。活性化が課題。

⑥30 期生最終進路状況及び 31 期生進路希望状況

- ・昨年は進路決定率が低下したので、回復をめざす。

⑦人権保健部「1 学期の取り組み」

- ・生徒については、各学年で人権学習、1 年生で性教育 HR に取り組んだ。また、教職員については、職員人権研修、事例検討会等を行ってきた。

⑧多文化共生プロジェクト「生徒状況およびコスモスの活動」

- ・今年度は新たに 1 年生に 10 名のコスモス生徒が加わった。

⑨地域連携活動報告

- ・昨年度も、高校説明会、進路講演会、出前授業、中高連絡会、オープンスクール、福井高カップ等に取り組んできた。

⑩広報活動方針

- ・総合学科の完成期（来年度）に向けてパンフレット等を刷新していく。また、より見やすいようにHPも変えていく。

⑪総合学科推進会議「中間報告」

- ・生徒の科目選択に工夫を加えているところ。3年次の「ドリカムテイクオフ」の全体像を秋までに決定したい。学び直しとして導入した「マナトレ」の検証を行う。

⑫Yプロ年間計画

- ・1学期の取り組みと今後の予定を確認。

5 委員からの提言

- ・体育祭を見たが、生徒がとても前向きに取り組んでおり、素晴らしかった。文化祭も楽しみだ。自分で選択する授業も素晴らしい。そのような内容をもっと保護者にアピールしてもよいのではないか。
- ・高校生になれば、ワークシート的なプリントではなく、きちんと板書を写して振り返りが書けるように指導していく必要もあるのではないか。また、小学生時にユニバーサルデザインの授業を受けてきた生徒が高校に入学している。グループワーク等の「共に学び合う授業」を導入していけないか。
- ・保幼小中の連携に加え、高校との連携も欠かせない。福井高校には多様な取り組みをさせていただいているので、中学校に伝えていきたい。
- ・教員も大きく入れ替わっており、福井高校の変革に期待している。

平成 28 年度 大阪府立福井高等学校学校協議会委員（敬称略）

番号	名前	職名
1	永田 光雄	元福井高校校長
2	米澤 恵子	元茨木市立福井小学校長 茨木市授業力向上指導員
3	川又 澄子	福井公民館主事 子ども教室コーディネーター
4	中村 信彦	(社) とよかわ福祉会相談役
5	車川 剛	本校PTA会長
6	前田 恵子	「福井高校を育てる会」会長 茨木市立三島中学校長

事務局

番号	名前	校務分掌等
1	井上 隆司	校長
2	森田 正良	教頭
3	原田 信尚	首席（2年学年主任）
4	坂本 丞平	首席（3年学年主任）
5	太田 真希子	教務部長
6	高野 雄資	生徒指導部長
7	岡崎 龍	進路指導部長
8	小川 隆史	地域連携主担

次回予定 平成 28 年 12 月 6 日（火） 15：00～ [校長室]